

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2018年 6月 12日

申24号「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について」に関する申し入れ

団体交渉④

(12 項) 認定線路技術者制度について、認定者数や進捗状況、具体的業務内容について明らかにすること。

(回答) 資格認定講習については、順次実施していく考えである。また、業務内容は、線路検修工事標準仕様書(在来線)別冊に則り実施していくこととなる。

・(P社における講習を)今週(6月11日の週)から来週(18日の週)にかけて行い、150名程の認定者の予定。(線路技術総括100名程度、技術者のみの方は約50名程度)

・出向者への教育は、6月後半に行う。

(13 項) 移管される検査巡回等でパートナー会社の受注能力により検査の期ずれが発生した場合の対処方法について明らかにすること。

(回答) 現行どおり、技術センター等とパートナー会社が連携して対応することとなる。

・期ずれは基本徐行だが、出ないように未然防止を図る。

・施工通知を出しても、今でも「JRさんでやってください」との現実があるが、P社の意識を高めるように話をする。期ずれが出ないように早々に調整。

(14 項) 閑散線区の冬期における投排雪保守用車等の申し込み、関係個所との打ち合わせ等はエリアセンターで行うのか明らかにすること。

(回答) エリアセンター又は技術センターで行うこととなる。

・ビッグロモの手配やシステムもそれぞれのエリアセンターで行う。電報手配は助役以上。

・設備21の完成しない点であるが、要員を確保するようにP社とは話をする。

・JR本体でも教育(資格者の増も)を行う。

(15 項) エリアセンターにおける除雪での保線技術センターからの助勢時の教育や体制、具体的業務内容を明らかにすること。

(回答) 降積雪状況に応じて、技術センター等とパートナー会社が連携して対応することとなる。なお、必要な教育は実施していく考えである。

・エリアセンターのある郡山や山形でも、同じ技セの仲間として応援ありえる。教育の一つとして線見等も順次行う考え。(若手からはやりたいと言われている)

・実現まで時間はかかるが、(この間の経緯があり)(要員の集まりにくい)踏切除雪を新しい機械を使って出来ないか、模索中

14、15 項は冬期体制も含めて職場の状況を踏まえ、検証視点にしたいと思います

(16 項) エリアセンターにおける設計協議の行い方を具体的に明らかにすること。

(回答) 関係する保線技術センターで行うこととなる。

・エリアセンターも保線技術センター内にあるので、受付はエリアセンターで行う。打合せ、協議の調整は行う。保線技術センター名で覚書を交わす。